化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版I

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 3.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 16 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 0.9 g と結びつく酸素は何 g か。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 6.8 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 21.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.6 g と結びつく酸素は何 g か。

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 13.2 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 13.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 17.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 7.5 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Iの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

(1) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 3.2 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 0.8 g

(2) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 16 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 20 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 0.9 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 0.6 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 6.8 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 8.5 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 21.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 27 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.6 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 4.4 g

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 13.2 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 3.3 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 13.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 17 g

(9) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 17.6 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
＝ 22 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 7.5 g と結びつく酸素は何 g か。
＝ 5 g